■今季のＸリーガーは２０人。活躍に期待

北海道学生アメリカンフットボール連盟がまとめた２０２５年シーズンの道内大学出身Ｘリーグ選手は１１チームの２０人（５月８日現在）。大学時代に北海道学生選手権で活躍した選手ばかり。後輩たちの期待も背に受けて、国内トップの舞台での活躍が楽しみだ。

最上位カテゴリーの「Ｘ１スーパー」では、オービックシーガルズのＷＲ成田将吾（北海学園大、２０２０年卒部）とＤＢアンダーソン真グレン（札幌学院大、２０２１年卒部）、ＩＢＭビッグ・ブルーのＤＬ菊池雄大（北海学園大、２０１９年卒部）とＯＬ本間航史（北海学園大、２０２１年卒部）、オリエンタルバイオシルバースターのＲＢ内海太陽（釧路公立大、２０２４年卒部）が、日本一を目指す舞台での活躍を誓う。ＩＢＭには練習生としてＷＲ佐藤玲太（北海学園大、２０２２年卒部）も所属する。

続く「Ｘ１エリア」のカテゴリーでは、胎内ディアーズにＯＬ間口洋輔（帯広畜産大、２０１４年卒部）、ペンタオーシャンパイレーツにＤＢ白田幹（北海道大、２０１８年卒部）、警視庁イーグルスにはＷＲ石川圭太（北海学園大、２０１６年卒部）とＱＢ佐和田健悟（北海学園大、２０２０年卒部）、ＯＬ宿野部壮紀（北海学園大、２０２１年卒部）の３人、ブルーサンダースにはＯＬ児玉宗己（釧路公立大、２０２４年卒部）が選手登録する。間口は３４歳のベテランだ。

「Ｘ２」にも５チームに９選手が所属する。ハリケーンズにはＴＥ浦田義樹（北海学園大、２０１７年卒部）、ＤＬ杉浦夏帆（北海道大、２０１９年卒部）、ＬＢ百瀬皓太（北海道大、２０２０年卒部）、ＬＢ金子舜（北海道大、２０２２年卒部）の４人がそろう。

茨城セイバーズにはＷＲ川久保康平（帯広畜産大、２０２３年卒部）とＱＢ金井康晴（東京農業大、２０２４年卒部）、横浜ハーバースにはＯＬ武藤雅嗣（帯広畜産大、２０２４年卒部）、西宮ブルーインズにはＯＬ藤田ティグライヌグス（帯広畜産大、２０１７年卒部）、琉球ガーディアンライオンズにはＬＢ比嘉匠（東京農業大、２０２２年卒部）がいる。

藤田は帯広畜産大が２０１５年の北海道学生選手権で準優勝した時の主力選手、金井と比嘉は東京農業大初のＸリーグ選手だ。

（北海道学連広報委員　塚田博）